

【企業情報】

本社所在地 埼玉県さいたま市
 事業内容 LPガス供給・販売等
 従業員数 1,416名
 (2019年9月末日現在)



外国人の活躍
 (バングラデシュ出身・
 技術開発部にて建設現場の
 施工管理を担当)



知的障害者の活躍
 (LPガススタンドで作業員
 としてタクシーへのLPガス
 充てん業務を担当)



女性の活躍
 (総合職向け研修の様子)



高齢者の活躍
 (埼玉県シニア活躍推進宣言
 企業の認定証)

【背景】

同社では2015年より、創業100周年の2045年に向け、「我が国を含め、アジア・太平洋地域において“総合エネルギー・生活関連事業”でリーディング企業になる」というビジョンを掲げている。同社はこのビジョンを実現するには、性別や年齢、国籍などにかかわらず、あらゆる多様な人材が活躍することが必要と考え、ダイバーシティ経営を積極的に推進している。

【取り組み（障害者の活躍）】

2015年のビジョン策定を契機に、同社では身体障害者と精神障害者に加え、新たに知的障害者の採用を開始し、彼らとその能力と適性に応じて最大限活躍できるよう様々な工夫を行っている。

採用前の段階では、特別支援学校と協力して知的障害者を実習という形で受け入れを行っている。学校と本人が事前に職場の雰囲気や担当業務を理解することで、安心して入社できる体制を構築している。受け入れの取り組みは、社内で障害者雇用への理解が深まるだけでなく、組織の雰囲気が明るくなったという声があがるなど、職場にも良い影響を与えている。

さらに、入社後は人事担当者と職場が一体となってフォローを行う。具体的には職場の指導係が日々業務をサポートをすることに加え、人事担当者が月2～3回、面談を行い、業務に関する相談や必要に応じてプライベートの悩みを聞き、その解消を図っている。

こうした工夫により、現在4名の知的障害者が各職場で活躍しており、そのうちの一人は2016年に社内表彰で社長特別賞を受賞した。

また、同社では知的障害者のほかに身体障害者と精神障害者あわせて19名が働いている。例えば、本人のITスキルの高さを活かしてコールセンター内のイントラネットの更新を任せるなど、彼らが働きがいを感じながら仕事で活躍できるよう、本人の適性に合った職場環境を提供している。これらの取り組みの結果、2018年、同社は障害者雇用率が2.5%を超え、埼玉県障害者雇用優良事業所に認定されている。

【取り組み（外国人の活躍）】

同社ではグローバル展開を進める中、積極的に外国人を採用している。2006年から中国やモンゴル、ベトナムなど、アジア諸国から日本への留学生を中心に採用を始め、7ヶ国から計26名を迎え入れている。外国人社員は「母国と日本のかけ橋になりたい」「将来、母国のグループ会社の経営者になりたい」など、志向するキャリアは様々である。同社はこのような外国人社員の思いにできる限り応えるため、一人ひとりの描くキャリアプランをもとに、必要となる仕事経験を本人とすり合わせながらジョブ・ローテーションを行うことで、彼らの働きがいを高めている。

【今後の展望】

同社では障害者や外国人の活用に加え、70歳までの継続雇用制度の整備や女性の活躍推進に向けた研修の導入などあらゆる多様な社員の活躍に向けて幅広い取り組みを展開している。今後もダイバーシティ経営を加速し、社員一丸となってビジョンの実現に取り組んでいく。